



学びセンター通信の第2号をお届けします。
今号でも学びセンターの最新ニュースやプロジェクト報告をお伝えします。

学びセンタープロジェクト進捗報告会開催

学びセンターでは様々なプロジェクトに取り組んでおります。インクルーシブ（防災教育）プロジェクト、エルモプロジェクト（実物投影機）、Google プロジェクト、市立長野中高プロジェクトなどです。先日各プロジェクトの進捗状況の報告会を、客員教授の堀田龍也先生をお招きし、オンラインにて開催しました。家庭で防災について学ぶアイデアや、工夫を凝らした実物投影機の活用、Google Workspace を活用する学生の姿、高校でのオンライン授業実践の様子等が共有されました。引き続き推進していきます。



「EDIX 東京」の紹介記事に取り上げられました

5月12日～14日に、東京ビッグサイトで開催された教育に関する総合展示会「EDIX 東京」の紹介記事において、長野県教育委員会の取り組みおよび、本学びセンターの「GIGA スクール 長野県ポータルサイト」の紹介がされています。

Itmedia 「GIGA スクール構想」の成功には何が必要？ 先進事例から考えてみる

登壇：長野県教育委員会 学びの改革支援課 参事兼課長 曾根原好彦 先生 他

コーディネーター：学びセンター特任教授 東原義訓 先生

長野県教委が取り組んでいる、市町村の好事例を、他の市町村に横展開したり、オンライン授業を教員に体験してもらうなどの取り組み、さらに本学びセンターとの連携の様子を評価いただいています。詳細は是非記事をご覧ください。



本学部生による「GIGA スクール『共同編集』による学びづくり」の連載開始

堀田龍也客員教授と佐藤和紀助教、常葉大学教育学部・三井一希講師の監修で、教職大学院1年生の手塚和佳奈さん、学部4年生の若月陸央さん、3年生の小泉遙香さん、萩原ほのみさん、他2名の学生らによる共同執筆での下記の連載が、小学館の「みんなの教育技術」のWebサイトで開始されました。全5回を予定されています。

第1回はクラウド活用の最大のメリットともいえる「ファイルの共同編集」についての紹介です。是非ご覧ください。



※引用 小学館「みんなの教育技術」同サイトより

GIGA スクール1人1台端末を活用した「共同編集」による学びづくり【第1回】

「共同編集」ってどんなもの？：小学館「みんなの教育技術」

※上記記事は、学びセンターサイトから迎えます。https://crl-shinshu-u.info/





附属松本小学校の研修会 & 実践紹介

附属松本小学校にて、東原義訓特任教授による GIGA スクール対応の研修が実施され、先生方が共同編集やその教育的意味を学ばれました。その後の実践の様子が届きましたので紹介いたします。

 **レッツゴー！！同時共同編集！！**

先日から取り組んでいる Google のアプリ「ジャムボード」。今回は、同じファイルに複数人が入って編集をする「同時共同編集」にチャレンジしています。目的は、来週から実習に来る先生方に「自分たちをもっと知ってほしい！」という気持ちが始まりでした。そこに今頑張っているパソコンを活かし、「1年生の思い出」「2年生の思い出」「3年生の思い出」と分担しスライド作成しました。



共同編集というのは実はとても難しいことで、ちょっとしたことで友達の画像を消してしまったり、自分の思い通りにならなかったりする場面があります。しかし、そんな中でも「私これやるね」「ここをこうした方がいいんじゃない」という声かけをしながら進めている子が多く、機械の活用の能力のほかにもこれから生きていく子どもたちの力が伸びているのを感じました。

「正解のない問い」と向き合っていくために、以下の 3 つの力が必要とされています（OECD Education 2030）。

- 「新たな価値を創造する力」
- 「対立やジレンマを克服する力」
- 「責任ある行動を取る力」

「同時共同編集」の中で、子どもたちはこうした力を身につけています。

（附属松本小 3 年西組学級通信「思いっきり」6 月 4 日号・藤松康之教諭より引用・編集）

信濃教育会との連携による信濃教育会教育研究所研究員の学部授業受講報告

学びセンターと信濃教育会の連携事業の一環として、信教教育研究所研究員の先生に、学部授業を受講していただいています。

「ICT」「GIGA スクール」…学校現場では新しい用語が飛び交うようになりました。これからの教育に不可欠な ICT について一から勉強しようと、この 4 月から信濃教育会教育研究所の研修生として学んでいます。その一環として、村松浩幸先生のコンピュータ利用教育、佐藤和紀先生の情報機器活用論を受講しています。両先生からは ICT の効果的な利活用にとどまらず、生徒に委ねる授業やプログラミング等で試行錯誤することの重要性、デジタル・シティズンシップ教育、指導に活かす資料分析など、教師にとって大切な視点も学んでいます。全てが「協働的、探究的で深い学び」のヒントになっていて、ここでの学びを実践に活かせることに今から胸躍らせています。

（信濃教育会教育研究所 土屋真貴子）



学生らの前でプレゼンされる土屋先生

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター

TEL : 026-238-4242 メールアドレス : crilofc@shinshu-u.ac.jp
Web サイト : <https://criil-shinshu-u.info/>



GIGA スクール県内サポートサイト

長野県内のさまざまな GIGA スクール情報をお届けしています。
Web サイト : <https://criil-shinshu-u.info/giga/>

